

令和5年度事業計画

1. はじめに

令和4年度は、厳しい状況を打破するための大きな「決断」をし、「決断」を実行するための「変化」を行った一年になりました。

関係団体との連絡協調、入札制度の対応、経費支出の削減等を実施したことにより、本年度事業収益の達成と事務局運営の安定を図ることができました。

この結果に繋がったのも、社員、事務局職員、役員の理解と負担があつて、達成できたものと考えるとともに感謝の気持ちしかありません。

令和5年度も引き続き厳しい一年になることが予想されますので、昨年度の「決断」と「変化」を踏襲するだけでなく、「変化」をブラッシュアップしていく必要があると考えています。

当協会が設立された背景や目的、公益社団法人としての責任を忘れることなく、これまでのことを教訓とし、魅力ある協会を築いていくための1年にします。

私たちは、昭和60年設立以来、公共事業の不動産登記に関する事務処理を適正かつ迅速に処理できるよう寄与して参りました。

当協会の強みである今日まで培った信頼と実績を、官公署の皆さまと県民に還元し、円滑な公共事業の推進に貢献していきます。

また、この培った信頼と実績を当協会の社員に還元し、魅力ある協会にしていきます。

2. 総務関係

(1) 協会の組織力向上

- ・新規開業者の積極的な勧誘
- ・退会社員の再入会の勧誘

(2) 社員及び新入会社員の知識及び技術の向上とコミュニケーションを図る

- ・研修会、勉強会の実施
- ・勉強会等を通して、社員間及び役員とのコミュニケーションを図る

(3) 適正な運営

- ・全公連・中嘱連と連携し、公益社団法人としての適正な運営を実施
- ・社員へのインボイス制度の周知と理解を求める

3. 事業関係

(1) 入札制度への対応

- ・業界全体で最低制限価格の設置や見直しの要望
- ・入札参加資格の格付け（ランク）制度導入の要望

(2) 官公署とのパートナーシップ

- ・嘱託関連業務のより良い相談相手になるよう努める
- ・災害や所有者不明土地等の社会問題解決に貢献する

(3) 新規開拓

- ・新たな官公署への入札参加の要望

(4) 関係団体との連絡協調

- ・福井県土地家屋調査士会、福井県土地家屋調査士政治連盟等、関係団体と連携して、制度改革を図る

4. 経理関係

(1) 経費支出の削減

- ・協会運営コストの削減

(2) 経費支払いの安定を図る

- ・業務処理の進捗を確認し、年度内の業務処理を促す
- ・計画的な借入金額の返済

(3) 効果的な予算執行

- ・協会運営の改善を図るものに、積極的に執行する

(4) インボイス制度の対応

- ・本制度に伴う会計処理の検討及び実施
- ・本制度に伴う規則及び規程の改訂